

学習内容報告書 フォーマット

学校名	青森市立北小学校
授業者	桧森 菜那

1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1. 単元名

守ろう！海

1-2. 学年

4 学年

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

総合的な学習の時間

1-4. 単元の概要

わかめの生態や養殖方法、塩蔵わかめ製品化体験等を行うことで海の生き物に興味をもつだけでなく、地元の水にも知らない事業があり、そこで働く人達の思いに触れることで、海を大切にしようとする心情を養う。

～主な活動～

- 陸奥湾大好きの DVD 視聴をして、陸奥湾の生物を知る。
- 地域の海を知る。
- わかめの生態やわかめの養殖について調べる。
- わかめの養殖方法、塩蔵わかめ製品化体験をする。
- わかめの生態や養殖についてについて新たな疑問点を追求する。
- まとめる。
- 報告会をする。

1-5. 単元設定の理由・ねらい

児童が、わかめの生態やわかめに関する仕事に興味をもち、実際に見学・体験的な学習を中心に進める。このことにより、わかめについて知るだけでなく、わかめに携わる人々の願いや思いに気づき、少しでも地元の水に対する思いを高め、海を大切にしようとする心情を養うことを目指す。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

- ・調べてみたいことや、やってみたいことなどをもとに課題を設定し、海の生き物についての資料や情報を進んで収集し、わかめに関する仕事の内容の概要を理解する力。
- ・収集した情報を比較・分類しながら整理し、海の生き物やわかめに関する仕事に携わる人々の願いや思いを考え、自分の言葉でまとめる力。
- ・海の生き物やわかめに関する仕事に携わる人々の願いや思いを共感的に捉え、海を大切にするために自分なりにできることを実行しようとする態度。

1-7. 単元の展開（全25時間）

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
1 ～ 2 時	<p>「むつわんだいすき」のDVD視聴しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・陸奥湾に生息する生物を知る。 ・海によさや調べてみたいことをメモする。 (わかめについては深く触れない) 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の学習の見通しをもたせる。 ・映像を見ても海（海の生き物）について学習意欲付けが難しい児童に対しては、昨年度の海洋教育の内容を想起させ、関心をもたせる。 <p>【教】DVD「むつわんだいすき」 制作・著作・販売元：RAB 青森放送</p> <p>【評】海（海の生き物）を連想しながら海の良さや調べてみたいことを自分なりにまとめ、明らかにしているか。</p>
3 ～ 5 時	<p>地域の海を知ろう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域ではホタテやわかめなどの養殖をしていることを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・陸奥湾で育てている生き物について自分なりに調べさせる。 ・調べた情報を共有させる。 <p>【教】「おさかな自慢図鑑」「続 おさかな自慢図鑑」 著：青森水産振興課 「魚 新版」 著：井田 齊、松沢 陽士</p> <p>【評】調べてみたいことや、やってみたいことなどをもとに、陸奥湾で育てている生き物について知ることができたか。</p>
6 ～ 10 時	<p>わかめの生態やわかめの養殖について調べよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わかめについて、ある程度の知識を自分なりに獲得する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・わかめに観点を絞り、詳しく調べさせる。 <p>【評】調べてみたいことや、やってみたいことなどをもとに、わかめについて自分なりに知ることができたか。</p>
11 ～ 12 時	<p>わかめの養殖方法、塩蔵わかめ製品化体験をしよう（本時）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わかめの生態について知る。 ・わかめの育て方について知る。 ・遊走子の観察をする。 ・塩蔵わかめの製品化を体験する。 ・商品にシールを貼る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・わかめは、根ではなく葉から栄養を摂ることを知らせる。 ・わかめの養殖について説明をする。 ・教師はわかめの生態と水産振興センター職員の仕事内容との関わりを児童に教える。 ・顕微鏡を使って、遊走子の観察をさせる。 ・児童からの質問に答える。・製品化するための説明をする。 <p>【教】青森市水産振興センターの提供資料 光学電子顕微鏡</p> <p>【外】青森市水産振興センター</p> <p>【評】わかめの生態や育て方等について概要を理解できたか。</p>

13 ～ 15 時	<p>わかめの生態や養殖についてについて新たな疑問点を追求しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> 青森市水産振興センター職員とやりとりをする。(質問状、インタビュー等) 	<ul style="list-style-type: none"> 体験を通して生じた新たな疑問点について考えさせる。 <p>【外】青森市水産振興センター</p> <p>【評】わかめの生態や育て方等について概要をより理解できたか。</p>
16 ～ 24 時	<p>まとめよう</p> <ul style="list-style-type: none"> わかめの生態や育ち方が伝わる発表になっているかをお互いに確認し合う。 グループごとに発表練習をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 見学をして分かったことや感じたことを新聞にまとめさせる。 海の生き物やわかめに関する仕事に携わる人々に共通する願いや思いが伝わる発表になるよう机間指導する。 見やすく、聞きやすい発表になるよう助言する。 <p>【評】まとめた内容をもとに、海の生き物やわかめに関する仕事に携わる人々の願いや思いをどのように相手に伝えるかを考えながら発表練習しているか。</p>
25 時	<p>報告会をしよう</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習の学びを発表する。 感想や質問を述べる。 	<ul style="list-style-type: none"> 練習中の様子や、各班が調べてまとめた内容を説明する。 発表で良かった点や質問を伝え合わせる。 <p>【評】海の生き物やわかめに関する仕事に携わる人々の願いや思いをどのように相手に伝えるかを考えながら練習してきたことを自分の言葉で相手に伝えているか。</p> <p>【評】海の生き物やわかめに関する仕事に携わる人々の願いや思いを共感的に捉えながら、海を大切にするために自分なりにできそうなことを発言しているか。</p>

2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

2-1. 単元における位置づけ

単元 25 時間中の 8・9 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

2-2. 本時の目標

実際にわかめに関する説明を聞いたり作業したりすることで、海の生き物やわかめに関する仕事についての情報を進んで収集し、わかめの生態や育て方についての概要を理解することができる。（知識・技能）

2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
<p>1. わかめの生態について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わかめは2色が混ざって茶色に見えるんだね。 ・わかめは根でなく、葉から栄養を摂るんだね。 <p>2. わかめの育て方について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メカブから遊走子を取り出すんだ。 ・発芽させるには光と栄養を与えて育てるんだね。 ・室内で培養する期間は7月から10月下旬なんだ。 ・本養殖は寒い時期に収穫するんだね。 <p>3. 遊走子の観察をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何か動いているね。 ・一瞬でいなくなったよ。 ・遊走子はどのくらいの大きさですか。 ・1つのメカブにいくつ付いているのですか。 <p>4. 塩蔵わかめの製品化を体験する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何でわかめから塩を取り除くのかな。 ・付着物や色の悪いところを取り除こう。 ・わかめを少しだけとるのが意外と難しいな。 ・量りで重さを均等にするんだ。 ・260グラムは結構多いんだね。 <p>5. 商品にシールを貼る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・賞味期限は1ヶ月なんだね。 	<ul style="list-style-type: none"> ・わかめは、根ではなく葉から栄養を摂ることを知らせる。 ・わかめの養殖について説明をする。 ・教師はわかめの生態と青森市水産振興センター職員の仕事内容との関わりを児童に教える。 ・顕微鏡を使って、遊走子の観察をさせる。 ・児童からの質問に答える。 ・製品化するための説明をする。 ・アイロンの使い方を教える。 ・教師は製品化の説明を繰り返し、助言する。 ・シール貼りの仕方やシールを貼る意味について説明する。

- ・曲がらないようにシールを貼ろう。
- ・コメントを書いて商品をアピールしよう。

【評】わかめの生態や育て方等について概要を理解できたか。(感想発表・行動観察)

3. 今回の活動の自己評価

- ・昨年度同様、詳しく説明していただくことで海の学習に対する意欲が増し、興味や疑問をもつことができた。
- ・わかめの見学や本物を手にとった体験をしたことにより、わかめに関心をもつきっかけになった。
- ・わかめが育つ部分から商品化するまでの流れを学ぶことで、作る人の工夫に気付くことができた。
- ・自分で仕分けや梱包したわかめを使い、家庭で様々な料理に使用して食べたことで、今回の学習のねらいに迫ることができ、また食育にもなった。

4. 今後の課題

- ・海洋教育で学んだことを、異学年交流を通して伝え合う活動があると北小学校の海洋教育の学びが深まる。
- ・導入部分で「むつわん大好き」の映像を見せ、本時に結びつけたが、わかめに関心をもたせるための導入をもっと工夫する必要がある。今年度の海洋教育の学びを次年度に生かした学習をしたい。
- ・海について学習している学校とお互いの学びについて ZOOM 等を用いて情報交換してはどうか。

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

- ・青森市水産振興センター職員との打ち合わせ、家庭科室確保、本時に使う道具の準備が必要である。

※実施した單元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS 明朝、10.5 ポイント / マージン：上下端 20mm、左右端 16mm

※ファイル名は「学習内容報告書_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書_海洋市立パイオニア小学校 1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。